

## R2 芽室高校生徒と芽室町議会議員との意見交換（案）

## ■目的:

令和2年度芽室町議会活性化計画における主要事業の一つに「町民との意見交換会の深化と充実」を掲げている芽室町議会として、「住民への議会活動の認知度向上」を図るとともに「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとするために「高校生との意見交換会」を実施する。

## ■対象:芽室高校生徒(新聞局員、生徒会執行部員、ボランティア部員 等)

## ■内容:

○テーマ:「**コロナ時代を生きる**」～**私たちはこれからどう生きていくのか!**

今年、世界中を震撼させ、今なおその感染拡大が集束しない「新型コロナウイルス感染症」は、人と人との距離を変え、従来の生活や学習のスタイル、ビジネスモデルなど、さまざまな領域・分野で大きな変化を生じさせた。

この間、国・地方自治体で様々な対応・対策が行われてきたが、かつて経験したことがない「災禍」の中、私たちは「何を感じ」「何を失い」「何を得た」のか。

これまでに起きたことを振り返りつつ、今後、行動変容・生活態様の変化が求められる中で、これからの自分たちの暮らしは、どうなっていくのだろうか? どうしていくべきなのか?

私たちの未来あり方についての議論を通じて、社会参画の機会の一つとする。

○日程: **12月23日(水曜) 16時~17時30分**

(全体 **1時間30分**以内)

○開催場所:芽室高校 1階会議室他

○全体の構成:

- 1 開 会
- 2 議長挨拶
- 3 意見交換会の進め方について
- 4 意見交換会
  - (1)出席議員の自己紹介
  - (2)意見交換会(グループワーク)

5 発表・提案

6 閉 会

○対応:全議員

○その他:「**北海道スタイル**」を遵守し、**感染防止対策**を行ったうえで実施する。

- ・手を洗う・手指消毒を徹底する
- ・マスク着用など咳エチケットを徹底する
- ・こまめな換気を行う
- ・3つの密を避ける



## R2 年度 芽室高校生徒との意見交換会(進行案)

進行: 全体進行:中村副委員長

- ① 開会あいさつ:早苗議長 16時00分(3分)
  - ② 日程の説明:中村副委員長 16時03分(2分)
  - ③ 目的・テーマ説明:梶澤委員長 16時05分(3分)
- 議会はなぜ「高校生と意見交換」するのか？

### ○ 事務局から、WSの進め方を説明 16時08分(7分)

- ◆今回のテーマ設定の目的・進行の説明
- ◆令和2年に入ってから「新型コロナウイルス感染症」に関わる国などの対応・対策、社会経済の出来事などを簡単に振り返ってみる。ーパワポ作成(別紙の進行案)
- ◆**テンプレート**を模造紙に書き写すなど活用。  
それぞれ、進行に従って、自分の考えを、付箋紙に書いて貼る、または直接書き込む。(班の進め方に任せる)
- ◆最後は、**4つのグループそれぞれが簡単に意見の概要を**発表し、全体で共有する。
- ◆人によって考え方はさまざまなので、お互いに考えを言い合っ、多様な考えや判断があることを知り、共有すること、社会のあり方模索する議論からの「**気づき**」「**共有**」を通じた自らの「**変化**」が目的。
- ◆まずは各班、進行・記録の担当を決めて、簡単に自己紹介をして、名前の読み仮名を確認してから、ディスカッションを始める。

- 意見交換:各班で実施 16時15分(1時間)
- ①議員・高校生自己紹介
- ②ワークショップ (途中休憩 0分) →別紙「進行案-詳細」

- 発表・提案:各班から 17時15分(12分)

(○ 集合写真撮影-全員で実施 省略?)

- 閉会あいさつ:常通副議長 17時27分(2分)

※終了 17時30分(目標)

■セッション1:

年明けから今に至るまでに何があったか振り返ってみる(投影資料を参考に①~③)

- ①「コロナ」の発生 →感染拡大。  
→武漢から世界へ。クルーズ船。出入国制限…



- ②その「コロナ」に対して、世界、国内でも次々と対応策が出された  
[緊急事態宣言、StayHome、飲食店など営業時間制限…]  
その結果、どんなことが起こったか？  
→保育・教育の分野では大混乱！  
→飲食店・旅行業・輸送・宿泊業…多くの産業に多大な影響が！

[ディスカッション]:

皆さんの暮らしに何が起こった？ どう感じた？  
無くしたものは？ 得たものは？



- ③国民の暮らしを支え？ 不安を解消し？ 経済を立て直すため？…として、こんな  
対策が出された  
→特別定額給付金・マスク配布・経済対策=GOTO キャンペーン…など

[ディスカッション]:

国が出した対策って、本当に役立ったのかな？ 功罪両面あるのでは？  
自分だったら、どうする？どう思う？  
みんなが住む町(市)で出した対策で良いと思うのは？ 無駄と思うのは？



■セッション2:

セッション1の経過振り返りを踏まえ、これからの社会・暮らしのあり方を模索してみる

- ④これからは「with コロナ」の時代だろう…  
「うまく付き合って生きていくしかない」のかな？

[ディスカッション]:

そうだとしたら、自分立ちの暮らしはどうなっていくのか？  
どうだったら良いと思うか？

## 令和2年度 芽室高校生徒との意見交換会（案）

### (1)開催趣旨:

令和2年度芽室町議会活性化計画における主要事業の一つに「町民との意見交換会の深化と充実」を掲げている芽室町議会として、「住民への議会活動の認知度向上」を図るとともに「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとするために「高校生との意見交換会」を実施する。

### (2)主催:

- ・芽室町議会

### (3)テーマ:

- ① 芽室町議会の取組み概要紹介～「**議会はなぜ高校生と意見交換をするのか**」
- ② 意見交換テーマ：  
「**コロナ時代を生きる**」～私たちはこれからどう生きていくのか！

### (4)対象者:

- ・芽室高校新聞局・生徒会執行部・ボランティア部員等：20人程度を想定

### (5)開催日程及び開催場所:

- ・日程：12月23日（水） 16時～17時30分
- ・場所：芽室高校 1階会議室他

### (6)実施方法:

- ① 全議員が参加するものとし、4班に分けて実施する。（班編成はP3参照）
- ② あらかじめ進行、記録者を決めておく。
- ③ 資料説明がある場合はタブレットを積極的に活用する。
- ④ 意見交換手法はワークショップで行う。
- ⑤ 出された意見については『議会報告と町民との意見交換会の意見・提案・要望等の取り扱いフロー』に準じて、整理する。
- ⑥ 役割及び分担
  - ア 全体統括・企画：議会運営委員会で行う。
  - イ 配付資料の作成：事務局
  - ウ 意見交換会参加者アンケートの作成：別紙 案
  - エ 会場の設営：高校教諭等と連絡調整し行う。
  - オ 説明・進行：議会運営委員が行う。
  - カ 記録：指定様式により、概ね1週間以内に委員長に提出する。
    - ・提出者は班内で役割分担のうえ決定する。
    - ・記録写真の撮影：事務局

**(7) 進行:**

- ① 開会あいさつ：早苗議長 16時00分 (3分)
  - ② 日程の説明：中村副委員長 16時03分 (2分)
  - ③ 目的・テーマ説明：梶澤委員長 16時05分 (3分)
    - ① 議会はなぜ「高校生と意見交換」するのか？
  - ④ ワークショップの進め方 16時08分 (7分)
  - ④ 意見交換：各班で実施 16時15分 (1時間)
    - ① 議員・高校生自己紹介
    - ② ワークショップ (途中休憩 0分)
  - ⑤ 発表・提案：各班から 17時15分 (12分)
  - ⑥ 閉会あいさつ：常通副議長 17時27分 (2分)
- ※進行：中村副委員長 (全体 1時間30分)

**(8) 会議録・報告書の送付:**

- ① 会議録：参加者の生徒、校長・教頭・担当教諭へ、2週間以内に送付する。  
・出された意見（課題と改善策）のまとめ。
- ② 報告書：後日配布する。  
報告書の内容は、
  - ① 出された意見及びその意見に対する回答文（必要に応じ）
  - ② 意見交換会参加者アンケートの結果内容
  - ③ その他

**(意見交換 班構成)**

Aグループ

正村紀美子	委員長
西尾一則	委員
中村和宏	委員
堀切 忠	委員

Bグループ

鈴木健充	副委員長
柴田正博	委員
黒田栄継	委員
早苗 豊	議長

Cグループ

立川美穂	委員長
常通直人	委員
寺町平一	委員
橋本和仁	委員

Dグループ

渡辺洋一郎	副委員長
広瀬重雄	委員
梶澤幸治	委員
中田智恵子	委員